

## 北海道の銘木 ～ 言問(こととい)の松(豊富町)

豊富町サロベツ原野の端に立つ、樹齢約1200年、高さ13mの巨大なイチイの木です。この地域に関する昔からの出来事を訊ねれば、なんでも答えてくれるという言い伝えから、「言問(こととい)の松」と名づけられたようです。周囲に住む酪農家の人たちから、今でも地域のシンボル・守り神として大切にされています。



1200年の歴史の重みが、あたり一面に漂っています。幹には太いシメナワが巻かれており、守り神としての威厳が感じられます。



木の前には祭壇が置かれており、お神酒と思われるものが供えられていました。



昭和49年には、北海道記念保護樹木に指定されています。



冬の厳しい寒風からこの老木を守るため、防風ネット(写真右側)が設置されています。この木を大切に思う地域の人々の気持ちが伝わってきます。